

日事 知る あの

岩手県知事 達増拓也



この万博出展を契機に、中国での本県特産品や観光地の知名度が向上し、県産品の販路拡大や観光客増につなげていければと大いに期待している。

はるばると茶と鉄瓶が上海に

来たりて結ぶ世界へのきずな

◎県政懇談会「希望郷岩手キャンペーン」

五月八日(土)

県政懇談会では、県民の声の県政への反映や協働による地域づくり推進のため、県内各地に出かけて、コミュニティ団体の方々、地域で活躍されている有識者や青年層の方々と意見交換などを実施している。

今回は、「いわての現状と未来・若者への期待」と題して、大学生を対象とした出前授業形式で、「いわて県民計画」の概要、誇るべき岩手の産業や技術、岩手に就職するメリットについて講義をした。

また、これからは答えを与える行政ではなく、答えを見つける手助けをする行政にしたいと思っていることを話した。

学生からは、「観光客を岩手に集める手法」についての質問や、「行政に関心のない人への周知の必要性」についての意見が出された。

◎知事ツイッター

日々の仕事を通じて遭遇する、誰かに伝えたい驚きや感動を、県民の皆さんと共有するため、今年二月一日からツイッターを使い始めている。



岩手県知事達増拓也のツイッター

◎上海万博に岩手県が出展を開始！

五月一日(土)

上海万国博覧会の開幕日、岩手県とプーアル茶で有名な中国雲南省プーアル市、上海大可堂茶業有限公司の三者による共同展示ブースがオープンした。

ブースの共通テーマは「茶文化」。本県の伝統的工芸品である南部鉄瓶と、中国の風土・歴史の中で培われてきたプーアル茶のコラボレーションである。

南部鉄瓶で淹れたお茶は美味しく、また、健康にもいいと言われている。上海万博全体のテーマ「より良い都市、より良い生活」を踏まえ、岩手県は「南部鉄瓶でより良い生活」をアピールしていきたい。



岩手県が出展した共同ブースのオープン当日の様子

今回の本県の出展は、地方政府が中央政府を介さずに、独自のネットワークを使って世界に乗り出した試みであり、地域主権改革の先導的な取組みと自負している。

今回の講義を通じて、たくさんの学生が岩手に残り、さまざまな分野で活躍されることを期待している。



キャンパストークでは学生から活発な意見が出された

◎岩手県「高知訪問団」の派遣

五月二十七日(木)～二十九日(土)

本県では、昨春秋に、高知県民有志の方々により、石川啄木父子の歌碑が高知駅前設置されたことを契機に、高知県とさまざまな交流事業を行うことにしている。坂本龍馬の海援隊のように、従来の枠にとらわれず自由な発想で活動する「岩手県I援隊運動」の一環として、私を団長とする訪問団が高知県を訪問した。

高知では、快晴でさわやかな天気の下、啄木父子の歌碑など本県ゆかりの地を訪問したほか、市民レベルでの交流を深めた。また、高知県立坂本龍馬記念館を訪問し、四月十七日(土)から七月十六日(金)まで開催中の「龍馬と啄木展」を見学するとともに、同記念館企画による尾崎正直高知県知事との「近江屋対談」を行った。

対談では、「新しい時代」を視界にとらえ、生きるスタンスが似ている龍馬と啄木について語り合ったほか、両県交流のキャッチフレーズ「高知・岩手×K・I」援隊」の下、首都圏で特産品を売り込むなど連携・交流を深めていくことを確認した。

両県の交流は、今後、石川啄木記念館(盛岡市)での企画展「啄木と龍馬」の開催(八月一日(日)～十月十七日(日))や「全国龍馬ファン集い岩手一関大会」(十月十日(日)、十一日(月))の開催、物産展の相互開催など目白押し。

啄木と龍馬というソフトパワーにはぐくまれた交流を「地域主権改革」実現に向けた試みとして更に充実させ、県民の暮らしや経済の向上につなげていきたい。



「近江屋対談」の様子は「Ustream」でライブ中継

◎「いわて・平泉観光キャンペーン」共同記者発表に「そばっち」降臨!

六月四日(金)

今年も、夏休みの行楽シーズンを前に、首都圏などから本県への誘客を図るため、七月から九月までの三か月間、「いわて・平泉観光キャンペーン」を実施する。

キャンペーンキャラクターを務めるのは、岩手のご当地キャラ「わんこきょうだい」。

「わんこきょうだい」は、岩手の名物「わんこそば」をモチーフに、おもてなしの心から生まれた五人きょうだい。生産量日本一の漆で塗

られた頭のお椀に、「そば」雑穀「豆腐」もち「ウニ」といった県内各地の食材が盛り込まれている。

記者発表では、キャンペーンの主要宣伝ツールとなるポスターやガイドブックのほか、「わんこきょうだいのうた」と、きょうだい筆頭「そばっち」の着ぐるみも初公開された。

「わんこきょうだい」が生まれて今年で三年目。この日、新たに歌と着ぐるみもお披露目されたことから、これを機に、ますます愛されるキャラクターとして、本県の魅力を楽しくPRしていきたい。



いわて・平泉観光キャンペーン共同記者発表